



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

2008年のリーマンショックから10年目となる今年。とりわけ先進国を苦しめて来た「需要不足」状況が、10年に及ぶ強烈的な金融緩和政策の根気強い継続によって解消に向かう2018年となりそうです。G20に代表される新興国も含めた世界主要国が揃って経済成長軌道を取り戻し、リーマンショック前以来久しぶりの世界同時好況というグローバルサイクルが廻り始めています。

年初から世界の株式市場は加速が付いて上昇し、20年間デフレ病に苦しみ続けて来た日本経済も世界の需要増大の恩恵を受けて景気回復トレンドを歩み始めていて、1月はおしなべて世界の金融市場全体が楽観の株高に沸いたと言えます。

リーマンショック以降先進国が生み続けた緩和マネーは企業にも個人にも温存されていて、余剰マネーが債券市場にも根雪のように滞留したままの株価上昇は、ぬるま湯に浸かるが如き「適温相場」となって、特に経済回復の主役たる米国で心地良く株価がグイグイ押し上げられて史上最高値圏に安定しています。加えてトランプ政権の超ド級減税政策が実現見通しとなって、世界全体に更なる経済成長加速への期待感が高まる中で新年の1か月は過ぎたわけです。

こうした超楽観環境は、一方で必然的に反動のマグマを蓄積させます。日本でも個人投資家の急上昇相場に乗り遅れまいとする心理が年初から欲望を顕わにし始めていて、かなり反転リスクに対し鈍感で無防備になっているように見えます。

実際トランプ政権の政治的不安定性や北朝鮮・中東の地政学的懸念、そして米欧の金融政策動向など、実は相場調整をもたらす引き金の材料は待たなしに並んでいます。長期投資家にも相場環境の反転に対する心の準備が必要な時だと言えそうで、それは、「決してジタバタせず、粛々と投資行動を継続する」ことであり、「長期・積立・国際分散投資」の権化たる「セゾン号」の泰然自若が本領発揮する時でもあります。

そして楽観にも悲観にも惑わぬ、世界経済の長期安定成長軌道を見据えた心持が長期投資家の肝要であると、改めて皆さまにお伝えしたいときでもあるのです。

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

1月の市場動向

株式：【米国の税制改革による景気刺激効果への期待が高まるなかで、金融緩和環境が長期間継続するとの見方が維持され上昇】

北朝鮮問題の緊迫化への懸念が後退したほか、米国で昨年末に成立した税制改革による企業業績の改善への期待が高まり先行きへの明るい見方が広がるなかで、先進国の中央銀行が金融緩和の縮小を急がない姿勢を示したことから、安心感が広がって上昇しました。

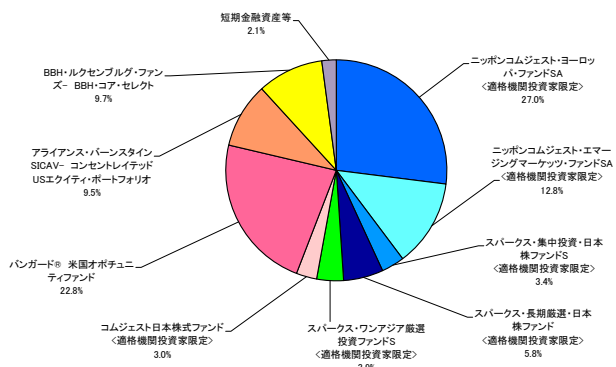
為替：【ユーロが上昇してドルが下落。円も上昇し、対ドルで円高、対ユーロで小幅な円安】

金融緩和の長期化観測を背景にこれまで軟調に推移してきたユーロや円が金融緩和の早期縮小への警戒が高まったことを受けて上昇し、既に金融緩和の縮小が織り込まれて上昇していたドルは、景気の先行きに対する明るい見方が広がるなかでも軟調な展開となりました。

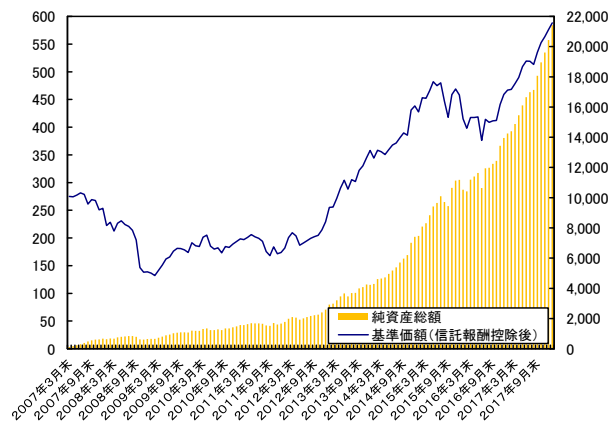
基準価額と純資産総額及び騰落率（2018年1月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
21,570円	584.3億円	+115.70%	+2.10%	+13.37%	+25.98%

資産配分状況(2018年1月31日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



1月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、BBH コア・セレクト・ファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から上昇し、月末時点で2.1%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

将来のことは誰にも分からず、理科室での実験のように繰り返し同じ対象を調べることにより真の値を推定することは出来ないことから、金融市場の価格変動リスクは、一般的には過去の市場の動きをもとに見積もられます。しかしながら、過去の動きは将来を推定するための優れた指針となるとは限らず、特に市場が落ちている状況で比較的短い期間のデータをサンプルとして用いることによりリスクを過小評価し、意図したものよりも大きな価格変動リスクを負う結果となる傾向が見られます。

一方で、将来の予期しない出来事による影響は避けられないものの、保守的な想定を基に企業の本質的価値を見積もった上で、十分割安であると考えられる価格で購入することは、投資元本を失うという意味でのリスクを低減するための信頼性の高い方法であると認識しています。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）